

I 故宮博物院について述べた以下の文章を読み、設問1～9について解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

北京の紫禁城は、現在、故宮博物院という博物館となっており、ここでは中国歴代王朝が蓄積したコレクションをもとにして、膨大な文物が収蔵・展示されている。一説によると、漢の時代にはすでに皇帝が書画や器物を収集していた。王朝交代などによって散逸することもあったと考えられるが、歴代の王朝では、器物や書画などを管理する箇所や制度が設けられるなどして、それらの収集・製作が行われていった。

こうして形成されたコレクションは、清朝の乾隆帝によって大成されたが、辛亥革命によって（あ）が退位し、1924年に紫禁城からも退去すると、翌1925年に、旧清朝皇室のコレクションを保管・展示する機関・施設として、故宮博物院が設置されることになったのである。

しかし、満州事変のなかで日本軍が満州から山海関へ進出すると、南京国民政府は、故宮博物院所蔵の重要文物を北京から上海を経て南京へ移し、さらに、1937年に日本軍が南京に向けて進軍すると、四川の疎開先に分散させた。第二次世界大戦後、これらの所蔵品は再び南京に戻されたものの、国共内戦が激化するにつれて次第に中華民国政府の形勢が不利になると、1948年より、そのうち精選されたものが台湾に運び出されることになった。この台湾に運ばれた所蔵品をもとに、1965年には、台北にも故宮博物院という名称の博物館が創設されることになる。

ところで、北京、台北双方の故宮博物院で所蔵されている文物は、青銅器、陶磁器、絵画、書、公文書など多岐にわたる。たとえば、絵画では、北京の故宮博物院に所蔵される「清明上河図」が著名である。これは、北宋から南宋にかけての宮廷画家であった張昉の作とされ、北宋の都であった（い）内外の賑わいを精緻に描いているとされる。また、台北の故宮博物院に所蔵され、李唐の筆によるとされる「文姫帰漢図」は、後漢の才媛で、匈奴に拉致された蔡琰の人生を描いた歴史物語を主題としたものである。書では、（う）の「蘭亭序」が有名であるが、真跡は唐の太宗が自らの陵墓に副葬させたこととされ、所蔵されているものはすべて模写や模刻されたものである。また、双方の故宮博物院には、古代中国で威信財や祭祀具として重要であった玉を用いて製作された器物（玉器）が多数収蔵されている。

設問1 下線部aの「北京」に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① フビライは、北京の前身となる大都を都とした。
- ② 燕王（のちの永楽帝）は、靖難の役で北京を攻略して帝位についた。
- ③ 李自成の反乱軍に北京が占領され、明朝は滅亡した。
- ④ 義和団事件のとき、日本やロシアなどが共同出兵して北京を占領した。

設問2 下線部bの「乾隆帝」に関して、正しい文はどれか。

- ① 乾隆帝のとき、イエズス会以外の宣教師によるキリスト教の布教活動が清朝で初めて禁止された。
- ② 乾隆帝は『古今圖書集成』を編纂させ、それは次の皇帝の時代に完成した。
- ③ 乾隆帝のとき、清朝はロシアとネルチンスク条約・キャプタ条約を相次いで結び、北方の国境を定めた。
- ④ 離宮につくられた西洋風建築の設計に携わったカステリオーネは、乾隆帝に仕えた。

設問3 下線部cの「南京国民政府」に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① 南京国民政府は、上海クーデタをおこした蔣介石によって樹立された。
- ② 南京国民政府は、上海を拠点とする浙江財閥の支援を受け、安定的な政権の確立を目指した。
- ③ 張学良が南京国民政府への支持を表明し、南京国民政府は形式的には全国を統一した。
- ④ 南京国民政府は諸外国との条約改正を進めたが、関税自主権は回復できなかった。

設問4 空欄（あ）に入る人物名はどれか。

- ① 雍正帝
- ② 光緒帝
- ③ 宣統帝
- ④ 同治帝

設問5 下線部dの「北宋から南宋にかけて」の時代に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① 北宋では、科擧の最終審査として殿試が創設された。
- ② 北宋では文治主義のもと皇帝直轄軍が解体され、軍事力は節度使に頼った。
- ③ 靖康の変の後、再興された宋(南宋)は、金に対して臣下の礼をとることになった。
- ④ 宮廷に設置された画院を中心に、院体画と呼ばれる画風が生み出された。

設問6 空欄(い)に入る都市はどれか。

- ① 開封 ② 建康 ③ 洛陽 ④ 臨安

設問7 下線部eの「匈奴」に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① 始皇帝は匈奴に敗れたため、戦国時代の各国が築いた長城を修築してその侵入を防いだ。
- ② 匈奴の冒頓単于は漢の高祖を破り、高祖は匈奴に対して和親策をとることになった。
- ③ 漢の武帝は匈奴を討って北方へと退け、西域にまで勢力を広げた。
- ④ 分裂を繰り返した匈奴の一部は華北に移住し、五胡のひとつに数えられた。

設問8 空欄(う)に入る人物名はどれか。

- ① 顔真卿 ② 康有為 ③ 蘇軾 ④ 王羲之

設問9 下線部fの「王」の産地として漢代から有名であり、タリム盆地南縁に位置したオアシス都市国家はどれか。

- ① カシュガル(疏勒) ② ホータン(于闐) ③ クチャ(龜茲) ④ フェルガナ(大宛)

## II 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

古代ギリシア世界と古代ローマ世界の関係について、見ることにしよう。

リウイウスによれば、紀元前5世紀半ばの(①)制定に際して、ローマの使節がソロンの法律等を学ぶためにアテネに赴いたと伝わる。他方、確実な事実としては、紀元前8世紀にはイタリア半島南部にギリシア人が植民市を建設した。ローマ王政末期には彼らとローマ人の交流が生じ、おそらくこの時期に重装歩兵戦術もローマに伝わった。この戦術を通じて、ローマはイタリア半島を統一し、地中海世界に覇を唱え、世界帝国となっていく。

ローマがイタリア半島統一の過程にあった前4世紀後半、マケドニアのアレクサンドロスがギリシア世界を統一し大帝国を建設した。けれども、アレクサンドロスの死後、その帝国は、さまざまな政治勢力に分裂した。前280年、当時のギリシア世界で有力だったエペイロス王ピュロスが、南部イタリアのギリシア人植民市タレントゥムの要請で、イタリア半島に上陸した。ローマはこれを撤退させ、アレクサンドロス帝国以降のヘレニズム世界にローマの存在を知らしめた。

他方、ローマは、前220年代以降、ギリシア本土で断続的に武力を行使するようになった。そして、前2世紀半ば、アンティゴノス朝マケドニアを滅ぼし、属州マケドニアを設置して、直接統治を始める。アンティゴノス朝が実質的に滅亡した際にローマによってイタリア半島に抑留されたポリビオスは、(⑦)を著して、ローマが世界帝国になった理由を明らかにしようとした。セレウコス朝シリアは、前1世紀半ば、後にカエサルと対立することになる(⑧)によって滅ぼされ、属州シリアが設置された。さらに、プトレマイオス朝エジプトはオクタウィアヌスとの戦いで敗れ、滅亡し、属州エジプトが設置された。このようにして、ヘレニズム世界はローマ世界に統合され、ローマの直接支配に服するに至った。

設問1 (①)に入る最も適切な語を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 十二表法 イ リキニウス・セクステイウス法 ウ ホルテンシウス法 エ ローマ法大全